

桂川町社会福祉協議会だより

おおぞら

2021

No.174

令和3年11月16日(年4回発行)

〈編集・発行〉社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会広報部 桂川町大字土居463番地1 いきいきセンター「桂寿苑」内 ☎65-2271・☎65-4555
メール fukushi@keisen-shakyo.or.jp ホームページ <http://www.keisen-shakyo.or.jp>

みんなで目指そう 『心にごにこ・身体はつらつ』健康長寿



イラスト：新 未佳

印刷・製本：今心株式会社 飯塚市横田669番地69後牟田工業団地 ☎22-2888

託児ボランティア養成講座



今年度の講座は、9月29日(水)スタートで4講座を計画しておりました。しかし、福岡県は4回目の緊急事態宣言が9月30日(木)まで発令されたため、2講座目から開講することになりました。

実施した3講座のうち2講座の指導にご協力いただいた図書ボランティア「布っ子」さんは、平成11年に設立し、布の絵本やタペストリー・大型紙芝居など、これまで数多くの作品を手掛けられ、現在も広域的に活動中です。

タペストリーの製作では、事前に準備した手作りマス

コットを参加者に縫い付けてもらいます。その一針体験後にプレゼントされる干支のストラップは大変好評です。「図書館まつり」や「きずなフェスティバル」で完成したタペストリーの寄贈を受け、桂寿苑のすくすく広場に展示し、温かみのある空間が広がっています。

これらの活動に対し『文部科学大臣賞』を受賞されました。名誉ある賞を受賞された「布っ子」さんの活動が、桂川町の子育て支援にますます貢献されることに期待されます。



10月6日(水) 講演

内容：お話しのコツ
指導：図書ボランティア「布っ子」



まず、手作り布の絵本『さるとかに』の読み聞かせから始まりました。人物など一つひとつの丁寧なつくり后感心するとともに、物語の世界へと入っていききました。手作り布の絵本を手にとってみることで、さらに関心は高まります。

次のエプロンシアターでは、ポケットから出てくるマスコットたちがどんどんエプロンに張り付いていき、にぎやかになりました。動きのある語りかけは、受講者をお話の世界へと導く、素敵なものでした。

最後に、大型紙芝居「天狗の羽うちわ」です。大きなページがめくられる度に、迫力があります。5名の参加者は、優しい語りかけと手作り作品にすっかり惹きつけられました。



10月13日(水) 実技

内容：手芸(干支のストラップづくり)
指導：図書ボランティア「布っ子」



ひと針体験後にプレゼントされる干支のストラップ。毎年1,000個作成し、配布されています。今回の手芸では、くりくりと動く目が、可愛らしさを引き立てる、干支づくりに挑戦しました。

細かに針を刺すところもあり、ずっと見ているとチラチラとなり、瞬きが増えてきます。何とかこの壁を越え、全員出来上がりました。

布っ子さんが作る干支は可愛いですが、自分で作った干支は愛着が増し、もっと可愛いものになりました。来年は、寅年。威厳のある寅のように、来年度が勢いのある年となるように願いを込めて、ひと針ひと針縫っていききました。



10月20日(水) 実技

内容：託児ボランティア体験
指導：子育て支援Wa-Wa



子育て中のお母さんにリフレッシュしてほしいと願い、毎月実施している託児に参加していただきました。この託児事業は、3時間子どもを預かり、日頃できないことに時間を費やし、買い物や美容室、友人とのランチなどにうまく活用されています。

緊急事態宣言の発令により部屋が利用できず、何度か中止になりました。久しぶりに実施できた託児を利用したお母さんから、「子どもと離れるのにほんのちょっと不安もありますが、その分愛おしく接することができます。」と言われていました。Wa-Waさんは、希望する日時で個人託児も行っています。「子育て保護者の応援者として、今後も活動を続けます。」と抱負を語られました。



10月1日▶12月31日

令和3年度 キャッチフレーズ

あつまれば 大きな力 赤い羽根

…赤い羽根共同募金



目標額 **3,169,501円**

第1回共同募金運動は、1947(昭和22)年、全国的に展開され、今年で75回目となります。桂川町で集まった募金額に応じて翌年度に実施される身近な地域福祉活動や、社会福祉施設の整備費として配分額が決まります。このような仕組みとなっていることから、赤い羽根共同募金は、自分の町をよくする募金活動とされています。

令和3年度 桂川町配分額

3,052,600円

今年はこのような事業に使用しています

歳末たすけあい事業

50,000円

高齢者福祉活動

750,000円

児童・青少年福祉活動

405,000円

障がい児・者福祉活動

325,000円

福祉育成・援助活動事業

1,522,600円



今後の街頭募金予定：12月15日(水) 15時～17時 トライアル桂川店

これまでに、桂川駅で1回、トライアル桂川店で2回の街頭募金を実施しました。「自分の町をよくするしくみ」と言われる赤い羽根共同募金にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

福岡県共同募金会会長優秀地区表彰

共同募金会桂川町支会は、令和2年度共同募金運動に対し、「優秀地区」に決定されました。

10月26日(火)に福岡国際会議場で開催された「令和3年福岡県社会福祉大会式典」において表彰され、代表して共同募金会桂川町支会の田中会長と三宅事務局長が表彰式に参列しました。

コロナ禍において、募金実績額が落ち込む市町村が多い中で、今回の表彰は、何よりも共同募金運動にご理解をいただいた町民及び企業などの皆様方のご協力によるものです。改めて、お礼とご報告を申し上げます。

8月26日(木)に開催された共同募金担当者研修会では、桂川町支会の取り組みについて事例報告を行い、県内の担当者に知っていただくよい機会となりました。

また、同式典では特別養護老人ホーム 薫風の苑でユニットリーダーを務められている松村 美鈴氏が、福岡県社会福祉協議会会長表彰(社会福祉事業特別功労者)を受賞されました。多大なる貢献を続けてこられた功績への表彰です。おめでとうございます。



問合せ先：共同募金会桂川町支会/桂川町社会福祉協議会 Tel.65-2271・Fax.65-4555
共同募金の使いみち情報：www.akaihane.or.jp ●赤い羽根データベース「はねっと」をご覧ください。



ひまわりの会



令和元年度に開催された第37回福祉のつどい(ひまわりフェスタ2019)以降、新型コロナウイルスが世界的に流行し、2年連続中止となりました。

このイベントには、会員の交流と親睦を図るため、また会の活動資金を集めるために、お惣菜の販売と物品バザーをしていました。中止となった2回は、会員だけのバザーに変更しています。

会員の自宅に眠っている未使用の品などを事前に回収し、役員が中心となって値付けを行いました。

10月21日(木)、年間計画どおりにひまわりバザーが開催され、数カ月ぶりに顔を合わせた会員さんは「元気だった？」を合言葉に、話に花を咲かせま

した。

会場に分散して陳列された商品の中に気になるものを見つけると、一つひとつを手に取り、確認されている姿がとても楽しそうでした。

会長 南 艶子



在宅介護者の会



4月22日(木)に令和3年度の総会を開催し、その後は緊急事態宣言の発令などが続き定例会を行えませんでした。10月14日(木)、久しぶりに会員の皆

さんが顔を合わせました。

この日の活動は、フカノ楽器店に所属する池田美智子先生の指導で、音楽レクリエーションです。歌に合わせて柔軟な動きや脳トレ、特にミュージックフープを使っての足裏マッサージはとても気持ちの良いものでした。

新型コロナウイルス感染症による制限がある中での活動が続きますが、感染予防対策をしっかりと行い、今後の活動を計画どおりに実施していきたいです。

会長 堀井 恵津子



桂川町社会福祉法人連絡会



桂川町にある社会福祉法人の8団体が会員となり、地域貢献活動を行っています。この度、福岡県社会福祉協議会

350万円が上限となっており、一時金として補助金が交付されます。

補助金の主な活用内容は、各法人と連絡会が取り組む活動を紹介するパンフレットの作成や各法人の求人情報紙の発行、共有して使用できる備品の購入、子どもの居場所づくりなどを検討しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、思うように計画が進まないところもあります。このような状況ではありますが、各法人の特性を活かして連携を深め、重層的な支援体制の構築を目指します。

会長 野見山 直博



が実施する「小規模法人のネットワーク化による協働推進事業」に推薦され、指定を受けることになりました。

この事業は



豆田区体操教室



土師二区在住の金丸 祐二 氏の指導で、平成27年4月から月3回の体操教室を始めました。60~80代の女性が数十名程度、豆田区公民館に集まり、ストレッチを中心とした体操です。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公民館を使えなくてお休みする期間もありましたが、6年3ヶ月続いた教室を9月末で終えることになりました。厳しく、時には優しく指導を行ってくれた金



丸先生にはとても感謝しています。

9月末に緊急事態宣言が解除され、10月3日(日)にお別れ会を開催しました。上品なお料理が彩る3段重のお弁当と招待した先生からデザートへの差し入れがあり、さらにテーブルにはぎやかになりました。アルコールなしでの食事会となりましたが、これまでの思い出話に花を咲かせました。

参加者の中には、「途中で病気を抱えたけれども、こうして体調を維持できているのは、体操を続けてきたからです。」と感想を言われていました。言ったことも言われたこともすべて覚えているとあいさつされた金丸先生に感謝し、今後のご活躍をお祈りいたします。

豆田区 福井 みどり



桂川小学校 4年生福祉教育

10月6日(水)、聴覚障がい者の大里さんと尾籠さん、手話の会の新宮さんと右田さんの4名が桂川小学校に招かれ、障がいのある人が地域で日常生活を送る中で、どのようなことに困っているのかについて学習しました。

自分なりに考えた回答を伝えた後、実際の生活状況を見ました。それぞれが工夫した点や、会話がわからない時に不安になるとの問題点があると知りました。もっとたくさんの人が手話をできるようになり、意思が通じる桂川町になればいいなと願っているそうです。

10月19日(火)は、手話の会の新宮さんと右田さんにお話を聞きました。手話を始めた時期やきっかけを聞き、主な活動内容を確認しました。「障がい者に情報を提供すること、障がい者と同じ地域で生活して



いる方々にその存在を知ってもらいたい、そして双方に気持ちを伝えるために活動をしています。」とされていました。

また、10月21日(木)、12名の児童が桂寿苑の施設見学に来ました。昭和57年に建設され、平成12年に改修工事を行い、大部分がバリアフリーになりました。現在は、ボランティア団体の活動の場・学童保育所などとして使用されています。見学後、社協事業のたすけあい桂川を紹介しました。困ったときはお互いさまなので「ありがとう」と言える、また言ってもらえる人になってほしいと願いました。

地域担当職員 河原 美奈子



嘉穂総合高校 ひまわり

毎年、プランターに植えられたひまわりを届けてくれます。今年は3回届き、見事に大きく開花しました。太陽に向かって、お行儀よく並んだひまわりは、桂寿苑に来てくれた人の気持ちを和やかにしてくれます。ありがとうございました。





**介護老人保健施設
さくら園**
嘉穂郡桂川町大字土居877
☎0948-65-5550・FAX0948-65-5595



さくらオリムピック

さくら園では「一秒でも一回でも多くの利用者様に笑って頂く事」を理念とし、「笑顔」を大切にしています。コロナ禍の中、ご家族と会えず外出



ています。練習の成果が出た時の喜びは、利用者様の活力となり、笑顔につながります。

7月23日、日本にとって一大イベントである東京オリムピックに因んで「さくらオリムピック」を開催しました。

その中の「聖火リレー」では、手作りの旗を振りながら利用者様、職員一同、走者へ声援を送り、競技後にはメダル授与式を行い、利用者様からはたくさん笑顔を見ました。

私達職員は、利用者様から笑顔という金メダルを頂きました。1日でも早くコロナ収束を願うと共に、これからも「笑顔」と「笑い」のパワーでコロナに立ち向かっていきたいと思っております。

介護士 野上由美

も出来ない日々が続いています。その寂しさや窮屈さで気持ちがふさがることなく、日々を楽しく過ごして頂けるようイベントを行っています。イベントは全員が参加でき、日々のリハビリの成果を発揮出来る様に工夫しています。



**特別養護老人ホーム
薫風の苑**
嘉穂郡桂川町大字吉隈13-96
☎0948-65-4141・FAX0948-65-4169



**養護(盲人)老人ホーム
白藤の苑**
嘉穂郡桂川町大字吉隈13-96
☎0948-65-4141・FAX0948-65-4169



白藤の苑現地改築工事

養護(盲人)老人ホーム白藤の苑は、視覚障がい者の老人ホームとして昭和57年に開設し、今年で39年目を迎えました。建物の老朽化等により令和2年12月から令和3年3月(予定)まで建物の現地改築工事を行っており、令和2年12月に仮設住宅を建ててからのスタートとなりました。

薫風の苑増築工事

令和3年10月には、新しい住居スペース(個室)、浴室、スタッフステーション等が完成し、利用者様の引越しが完了しました。
令和3年11月からは、新しい食堂、調理室、医務室、地域交流センター、外構等の工事を行っています。

特別養護老人ホーム薫風の苑は、ユニット型の介護老人福祉施設として平成22年に開設し、今年で11年目となりました。今回現在の定員20床から増床し、定員30床へと増築工事を令和4年4月から行います。
白藤の苑、薫風の苑、第二白藤の苑への入所申込みや相談等の受付は随時行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。
コロナ禍にあり何かと不便な今日ですが、今後も可能な限り地域の皆様と交流をさせていただき、開かれた施設を目指して行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願致します。

事務長 藤井康貴

お知らせ

2022年(令和4年) カレンダー募集

来年(2022年)のカレンダーを集めています。集めたものは、ひとりぐらし高齢者や高齢者世帯など、民生児童委員のご協力のもと、必要としている方へ配布しています。

企業や商店などからいただいたカレンダーのうち、ご家庭で不要なものがありましたら、ぜひ、社協へお持ちください。高齢者に配布するため、数字が大きく印刷されたものがあれば、なお大歓迎です。

また、カレンダーを必要とされている方も、社協へご相談ください。



- 土居一 三宅喜久江様 (故義母・工三力様)
- 土居一 高森 直臣様(故妻八千代様)
- 土居一 大塚 肇様(故母 琴様)
- 土居一 緒方 寿一様(故母 和子様)
- 土居一 樋口 智様(故父 博富様)
- 土居一 三宅喜久江様 (故義母・工三力様)
- 土居一 山神十二香様(故父小平次様)
- 土居一 高森 直臣様(故妻八千代様)
- 土居一 大塚 肇様(故母 琴様)
- 土居一 緒方 寿一様(故母 和子様)
- 土居一 樋口 智様(故父 博富様)
- 土居一 三宅喜久江様 (故義母・工三力様)
- 土居一 川波 和義様(故母キヨコ様)
- 土居一 吉川美香子様(故夫 保雄様)
- 土居一 河野美恵子様(故夫 隆様)
- 土居一 末永 邦子様(故夫 光昭様)
- 土居一 三宅喜久江様 (故義母・工三力様)
- 土居一 貝嶋 満江様(故夫 亮三様)
- 土居一 岩崎 英和様(故妻 修子様)
- 土居一 丸山ス力子様(故夫 國男様)
- 土居一 石原シマ子様(故夫 紋太様)
- 土居一 高山 孝子様(故夫 義文様)
- 土居一 藤川 一喜様(故妻 隆子様)
- 土居一 吉隈 和雄様(故母ソキ子様)
- 土居一 秋山 和雄様(故母ソキ子様)
- 土居一 壽命 和雄様(故母ソキ子様)
- 土居一 山神十二香様(故父小平次様)
- 土居一 高森 直臣様(故妻八千代様)
- 土居一 大塚 肇様(故母 琴様)
- 土居一 緒方 寿一様(故母 和子様)
- 土居一 樋口 智様(故父 博富様)
- 土居一 三宅喜久江様 (故義母・工三力様)
- 土居一 川波 和義様(故母キヨコ様)
- 土居一 吉川美香子様(故夫 保雄様)
- 土居一 河野美恵子様(故夫 隆様)
- 土居一 末永 邦子様(故夫 光昭様)
- 土居一 三宅喜久江様 (故義母・工三力様)
- 土居一 榊原 尚子様(故父 重春様)
- 土居一 坂井 瑞穂様(故父 利則様)
- 土居一 平山 英治様(故母マスミ様)
- 土居一 塚崎 宣博様(故父 勝利様)
- 土居一 尾田 清嗣様(故母マサ工様)
- 土居一 小西 清嗣様(故母マサ工様)
- 土居一 初盆返し寄付金

寄付金合計 266,600円

香典返し寄付金

令和3年8月1日～令和3年10月31日

ありがとうございました



「献血」は命をつなぐボランティア

交通事故による負傷や病気による手術など、血液を必要とする患者さんは、毎日たくさんおられます。しかし、血液は人工的に造ることができない上、長期保存もできません。皆さんの善意の献血によって、多くの患者さんの命が救われます。命をつなぐボランティア「献血」に若い世代をはじめ、皆さんのご協力をお待ちしています。

期日 1月28日(金)
時間 10時～15時30分(休憩 12時30分～13時30分)
場所 総合福祉センター「ひまわりの里」
年齢 男性 17～69歳 女性 18～69歳
体重 男女共50kg以上
回数 男性 年間3回以内 女性 年間2回以内

※血圧の薬を複数剤服用されていてもできますが、合併症がなく、血圧が安定している方に限ります。また、医師の判断により、ご遠慮していただく場合があります。
※初めての方は、本人を確認できる証明書(運転免許証、健康保険証・学生証など)をご持参ください。

介護のお仕事復帰セミナーのご案内

介護人材不足が全国的な課題となる中、即戦力としてその能力を発揮することが期待されている介護分野の有資格者に対し、介護分野への就業促進を図るとともに再就職の機会を提供することを目的として、次のとおりセミナーを開催します。

日にち 福岡地区 12月10日(金)
北九州地区 12月14日(火)
時間 11時～16時まで(昼食休憩あり)
会場 福岡地区 クローバープラザ(春日市原町3-1-7)
北九州地区 KMMビル(小倉北区浅野2-14-1)
内容 介護技術の復習(講義・実技)
対象 介護福祉士か介護関係研修課程修了者で、介護分野に就業していない方
定員 20名 参加費 無料
問合先 福岡県社会福祉協議会 福祉人材センター
☎092-584-3310
<http://www.fuku-shakyo.jp/jinzai/>



令和4年度学童保育所の入所案内

募集 桂川学童保育所 220名 桂川東学童保育所 50名
対象 町内小学校に在籍する1年生から6年生で、その保護者が就労、病気、介護などにより、家庭での保育が受けられない児童

保育日 平日、土曜日、学校の振替休日、春・夏・冬休み
時間 平常保育 放課後～18時30分
一日保育 8時～18時30分
利用料 4,000円/月・1人(2人以降2,500円/月・1人)
※その他おやつ代、保護者会費等負担あり
※利用料減免制度あり

申込期間 令和4年1月4日(火)～21日(金)
※定員になり次第締切

申込先 桂川町社会福祉協議会、各学童保育所

人権相談ダイヤル

～ひとりで悩まず相談してください～

- みんなの人権110番 ☎0570-003-110
差別、虐待、ハラスメント等、さまざまな人権問題についての相談
- 女性の人権ホットライン ☎0570-070-810
女性の人権についての専用相談電話
- 子ども人権110番 ☎0120-007-110
子どもの人権についての専用相談電話
- インターネット人権相談窓口
<http://www.jinken.go.jp/>
パソコン、携帯電話、スマートフォンから、いつでもご利用いただけます。



問合・申込先 桂川町社会福祉協議会 (いきいきセンター「桂寿苑」内) ☎65-2271 FAX65-4555

このひとに聞きました



だいふ あきら
題府 昭 さん



プロフィール

- ◎年齢 69歳
- ◎住所 笹尾一
- ◎趣味 音楽鑑賞

■聞き手
河部 寛
谷口 裕司

Q1 ボランティアを始めたきっかけは？

お世話になっている地域社会に恩返しをさせていただきたいという気持ちがありました。

時間的余裕ができたこと、幸いにして病気を抱えることもなく10年程活動を続けています。今と元気をくれる子ども達に感謝しています。

Q2 朝のあいさつ運動・見守り活動で感じることは？

あいさつは心の中で思っても声に出さないと相手に伝わらない。心こもって毎日変わるものです。イライラする。相手が嫌い。おしゃべりする気がしない。でも、相手が「おはようございますー」と言えば、それに答えるのが人の道です。心は暗くても、声に出すときは明るく答える、すると人生が明るい方向へ変わっていきます。これが「三霊」の力。嘘だと思つたら毎朝、明るく大きな声であいさつしてみてください。身を持って経験していますので、本当だとお伝えします。

Q3 ボランティアは楽しいですか？

他にもアンビシャス広場の活動をしています。木曜日の放課後と土曜日に桂川東小の体育館などで見守りや地域の方々による体験学習などを行っています。楽しいときがあっても継続し、後継者にバトンを渡すことができれば満足です。

Q4 最後に、ぜひお伝えしたいことがあれば一言お願いします。

今をときめく大谷翔平、彼の最大の魅力は人間性。主審・塁審・内野手へのあいさつを必ずします。球場のゴミを見つけるとさりげなく拾います。前人未到の記録と同様にこのような選手を見たことがありません。彼の仕草は人々の心を癒し、ハッピーにしてくれます。人生の成功の形は人それぞれ。朝のあいさつ感謝の気持ちを忘れなければ人生成功だと私は実感しています。

明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ。

編集後記

コロナ禍の喧騒は、まだ続いていますが、いつになったら通常の世の中になるのでしょうか。

先日、ネットニュースを見ていると、日本人が開発した「イベルメクチン」という薬のことが載っていました。用途は違うが新型コロナウイルス感染の症状に効果があるのではないかと、言われているそうです。

世界で30億の人々が服用していて、副作用の報告もされていないようです。日本では、海外で作られたお薬をいち早く特例承認されているのに「イベルメクチン」は何故、世の中に出回らないのか不思議な気がします。

一日も早い特効薬が望まれますし、平常の日々が戻ってくるよう、祈るばかりです。

平常といえば、孫を幼稚園バスの停留所へ送りに行くとき、「じい、唐辛子が赤いね。」や「この花かわいいね。」などと、私に四季を教えてください。小さいことかもしれませんが、このようなことから平常で平和な日々を取り戻せたらいいなと思うこの頃です。

広報部員 尾崎 龍司



絵：多川 敦子(九郎丸)

地域貢献活動の紹介
(株式会社ダイナム様)

地域貢献活動は、地域との共生を目指してさまざまな企業や団体が取り組んでいる活動です。

全国46都道府県にパチンコホールを展開する株式会社ダイナム様は、新型コロナウイルス感染症の拡大予防策の一環として、店舗内のさまざまな設備に、光の力で菌やウイルスなどを分解・無害化する「光触媒コーティング」を施工しています。ニーズ調査からコロナ禍でも安心して通える学校生活を送ることができるようという思いから、今回の地域貢献活動につながりました。

ダイナム桂川店様の近隣地域に所在する一番近い桂川小学校に対して、ダイナム様の職員と桂川小学校の教員が教室の机と椅子を中心に学校内部の施行を行いました。コーティング作業に使用した製品「光触媒コーティング」は、製造元である株式会社ポッシブル様から寄贈を受けています。

また、相談に来た方や生活困窮者支援に配布していただきたいと申し入れがあり、日用雑貨(洗剤・ラップ・トイレトペーパー)をご提供いただきました。受け取られた



方は、「日常的に使うものなので、大変助かります。」とお礼を言われ、社協を後にして行かれます。

桂川町の誰もが安心して暮らせる町づくり活動に、社協としても協力していきたいです。